



2002年7月10日 社団法人 長崎青年協会会報 271号

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団 法人 長崎青年協会

スローガン 「スクラム！」



ゴミ拾い in 浜んまち！（雨の中の清掃隊）鉄橋にて

今月の行事予定

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 5日(金) 理事会 | 15日(月) 理事会 |
| 20日・21日(土・日) 青少年育成事業（伊王島、他） | |
| 22日(月) 夫婦同伴例会（長崎東映ホテル） | |
| 26日・27日(金・土) ながさきみなとまつり | |

今月度事務局清掃担当委員会

地域社会委員会

今月の二次懇親会担当委員会

(夫婦同伴例会の為設定はありません)

～出欠の返事は確実にしよう～

2002
7

●6月定時例会●



会長挨拶

熱戦が繰り広げられた『サッカー ワールドカップ』も暑い夏を迎える前に、多くの感動と勇気を我々一人ひとりの心に残し、無事終了しました。まさに世界を感動の渦に巻き込む『ワールドイベント』だったなと思います。

我々青年協会も地域社会に対して、『…らしい』一石を投じられるよう会員の想いと行動を一つにして取り組んでまいりたいと思います。

さて、6月30日(日)に行われました、『一緒に拾おうゴミ拾い in 浜んまち』では集まったゴミの量ではなく、まず我々が腰を屈めゴミを捨うことによってひとりひとりの意識が変わり簡単にゴミを捨てなくなる。また、ゴミを捨つ人の前ではゴミを捨てなくなる。そんな想いがひとりでも多くの方に伝わることを目的としたすばらしい事業であったと思います。これからもこの企画は引き続き行われますので『長崎青年協会人』として意識を持って取り組んでまいりたいと思います。

これから夏に向けて『ながさきみなとまつり』『青少年育成事業』『平和の灯』と事業が控えています。我々の心に残るような夏の日の思い出となりますよう会員全員で盛り上げていきたいと思います。ご協力よろしくお願ひします。

～井上OB講師講演～

「伝える」という事！（青年協会の事業を通して学んだ事）



井上章OB(平成7年度卒)

月香園製茶株企画室係長

今回は青年協会の「小さな巨人」井上章OBをお招きし『「伝える」という事！』を演題に講演をして頂きました。井上OBは入会当初、「とにかく出来来い」「わからんなら人の話ば聞け」など、諸先輩方に強く言われたそうです。その強引さに引かれたのか、求めていたのかわからないが、事業に何気なく出て行くうちに、先輩たちの男の縦社会のいきな部分に引かれたそうです。その中に「おっ・面白い」、「何かがある」と気づき、たまには仕事のことでも忘れ協会活動にのめりこまれたこともあったそうです。また、『章節』という言葉が青年協会内にあるように独自の話調子で会員同士の絆、事業を組み立てる楽しさの中から、各々が学び取る材料はザクザクあふれているという事をわかって気づいて欲しいと切に伝えていただきました。そして現役の人に言えるのは「とにかく頑張って下さい」ということでした。一言で言うと「あーだ、こーだ言わんてヤレ！」という事なのだろう。また今回の講演を井上章OBならではの懐かしい4コマ漫画で表現していただきました。本当に有難うございました。(BY COMEX)

(今回の講演に感動を受けた若手有望会員F君より一言)

重みのある言葉、溢れんばかりの熱意、井上OBの小さな体が誰よりも大きく見えました。熱い想いが伝わっていくとき、上品な言葉ではなく、その人のもつ強い気持ち、行動が人を感動させ想いが伝わっていくんだなと感じました。ゴミ拾い…熱い想いとみんなの行動で伝えて行こうと思います。僕も粋に生きていきたい。



◀例会(平服例会)の模様▶



今回の例会は平服での例会ということもあり通常例会とは違い、どこか和やかな状態で進められました。役員報告では寺本副会長からの紹介で『ながさきみなとまつり』に参加を促すため、永田OBをお招きしてお話ををしていただきました。『みなとまつり実行委員会』で幹事長を務められる永田OBは協会在籍中の事を含め、現在の商工会議所青年部に至るまでの状況を話していただき、今回の『みなとまつり』はかなり熱意を持って取り組んでいらっしゃるようでした。特に昨今の状況から安全性に対し万全に対応したい為、協会員の一人でも多くの参加を呼び掛けられました。

続いて前田室長から『おくんち広場』の件で報告があり、こちらも円能寺OBを招いて今回の事業に対する決意を表明しました。地域社会委員会の報告では、麓委員長はじめ各委員のいなたい寸劇を交え6月30日に行われる『ゴミ拾い事業』と7月度の『青少年育成事業』の参加を呼び掛けました。他委員会報告後『熱闘3分PR』『誕生者の紹介』『よろこび』と続き今回の例会は終了しました。(橋田)



永田OB(右側)



円能寺OB(左側)

熱闘3分PRのコーナー



今回の登場は35周年企画推進室副理事 坂上隆弘君。青年協会について熱く語ってもらいました。「ほんの軽い気持ちで入った会だったのですが、始めて参加した委員会の後、先輩に誘われて朝5時までスナックで説教を受け、いったいこの会はどのような会だらうと思いながらも、とにかく一年間すべての事業に出たつもりです。その年、協会の忘年会の会場として私の店を利用させて嬉しかった。しかしその次に利用してもらった時に、先輩方より大変なお叱りを受け、大ショックで落ち込んだが、前向きにそのお言葉を謙虚に受け止め、ありがたいと思おうと気持ちを切り替えた時、面と向かって本音で語ってくれる事の大切さに気づいた。それは青年協会ならではの事ではないだろうか。この感謝の気持ちを今後の活動に生かして行きたいと思うと同時に皆さんも積極的に事業に参加して「感じて」頂きたいと思います。」

いいぞ坂上君 ナイスガイ!!

出席率(6月度)

役員・監事	総務例会	広報	研修開発	交流	地域社会	合計
9/10	90%	6/8 75%	4/11 36%	4/9 44%	6/12 50%	6/12 50% 35/62 56%

◀2次懇親会の模様▶



事務局での平服例会後、割烹 大判において二次懇親会が行われた。

今回は講師をお願いした 井上 章OBと、おくんち広場のお話をお願いした 円能寺 隆OBのお二方を招いてのものだった。池田室長の乾杯の後、みんな協会の事を両氏に話しを聞き、杯を酌み交わしていた。

これから夏にかけて事業が多くなってくると、会員一人一人が自覚しながらの懇親会でもあり、最後に『ゴミ拾い事業』と『青少年育成事業』を間近に控えている、地域社会委員会委員長の麓君による締めの挨拶で二次懇親会は終了した。

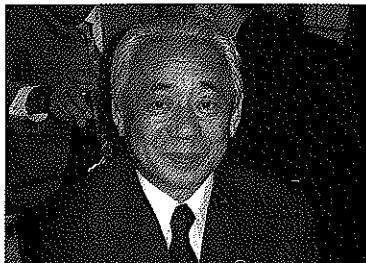
厄入り懇親会の模様 ～厄はやくでも今日は主役だ～

6月8日（土）銅座町の銀鍋で今年度の厄入り懇親会が6時30分より、厄入り当事者8名・現役26名・OB13名の出席のもと開宴された。浅田君の司会で始まり、厄入り当事者のプロフィールを紹介しながら当事者が入場。お殿様の着席の後三浦勝太OB会会長の叱咤激励を含む挨拶があり、その後浅田五郎OBの乾杯で楽しい宴がはじまった。食事とお酒が美味しくすすみ話も弾んだ。途中当事者に対して現役から『3分間祝辞』が行われた。渋谷OBには広瀬君、増崎OBには峰君、片江OBには松島君、山室OBには三瀬君、阿比留君には馬渡君、田川君には山崎君、寺本君には野口君、井手君には坂上君が祝辞を述べ、各々のスピーチに会場は笑いの渦に包まれた。歓談後締めの挨拶を野島君にお願いし、万歳三唱で懇親会の幕をとした。担当委員会のおかげでいい厄入りがむかえられたのではないかでしょうか。（YUGO）



大先輩より一言

今年、厄を迎えた8名の皆さんへ、出席されたOBを代表して浅田OB、三浦勝太OB、池本OBから一言づつお言葉を戴きました。



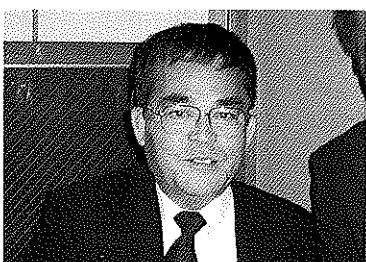
浅田五郎OB

大切な仲間より
御祝をして頂いて、仲間に恩返し
出来る様な立派な企業人になって下さい。
そのために体を大事に。よき企業人
として後輩達に尊敬される様
頑張って下さい。



三浦勝太OB

一期一会
人と人の出会いを
大切に!!



池本敏典OB

厄を過ぎると
人生は走るように速い!!

厄入り者の皆様！ 先輩方のお言葉の意味をよくかみ締めて、人生後半の
標にして頂きたいと思います。

=厄入り二次懇親会の模様=



オアシスにて

～ゴミ拾いin浜んまち～

去る6月30日(日)14:00より、あいにくの雨の中、「ゴミ拾いin浜んまち！」が、麓地域社会委員長の音頭のもと、実行された。今回は、浜町商店連合会(三田村一郎浜市商店連合会副会長)の方々と、長崎ネットワーク市民の会(村木昭一郎会長)の方々のご協力があり、総勢約50数名体制で、浜町周辺の清掃活動に取り組んだ。



本日はあいにくの雨の中みんなで一緒に『ゴミ拾いin浜んまち』にご参加いただきまして、ありがとうございました。おかげさまで大成功に終わったと思っています。お金のかからない青年協会らしい、いい事業ができたと自負しています。次は7月20~21日の青少年育成事業『こどもスマイル☆海★伊王島』、26~27日の「ながさきみなとまつり」でもゴミ拾いを行います。よろしくおねがいします。

地域社会委員長 麓 浩二



アーケード内をガールスカウトが担当

今回のゴミ拾い、雨にもかかわらず参加してもらった現役会員のみなさんありがとうございます。今回の事業には浜町六商の方、ネットワーク市民の会のみなさんにもご協力いただきました。

浜の町、思った以上にきれいでしたが、やっぱり目につくのはタバコの吸殻の多いこと、自分がタバコを吸わないで言うわけではないのですが、ひどすぎます。この光景って、喫煙者から見たらどう見えるんでしょうか？電車の線路脇にも大量の吸殻が落ちていましたが、これってきっと車からの投げ捨てですよね。

千代田区ではポイ捨てではなく、人通りの多いところを「路上禁煙地区」とし、そこでの喫煙常習者に2万円以下の罰金と、「環境美化モデル地区」での看板放置者らに対する罰則などを盛り込んだ条例を6月議会で可決しました。千代田区は以前にスーパーなどで使われるレジ袋に課税しよとした条例案もだしたところです（これは実現されなかった）。

長崎も観光都市であり平和都市、平和っていうのは突き詰めて考えると、「生命を守ること＝環境を守ること」につながると思っています。そういう意味から長崎市は環境を守る、よくすることにはもっと力をいれるべきと考えます。

全体事業としていい事業ができたと思ってます。それも無理なく…。できれば事業でもいいですが、「有志で定期的にゴミ拾いやりましょう！」、特段準備するものもいらんし、どげんでしょうか？

前田 哲也

今回、ゴミ拾い事業でゴミを拾う事によって、自分自身がゴミを捨てる事は当然なくなり、家族・友人が捨てる様な事があれば注意する気持ちになった事が良かったと思う。

宮崎 健太

参加された、皆さん本当に疲れさまでした。

本当にタバコのゴミが目立ちました。まだまだ喫煙者のマナーが悪いなーと思いました。タバコを吸うなとは、言いませんが吸殻は、吸殻入れに入れましょう！！

ゴミ拾いが終わった帰り道に、もうゴミがありました。少し寂しくなりました。でもそういう人たちの、意識改革になればいいなー、と思いました。

馬渡 鉄洋

見慣れたアーケードでしたが、こんなにゴミが多いなどとは気付かないもので、今日改めてそれを知りました。

三谷 勝大

～アルバムのページ～



▲真剣に聞き入る例会風景

河野、浜崎両OB▶

打ち合わせ
通りかな?▼



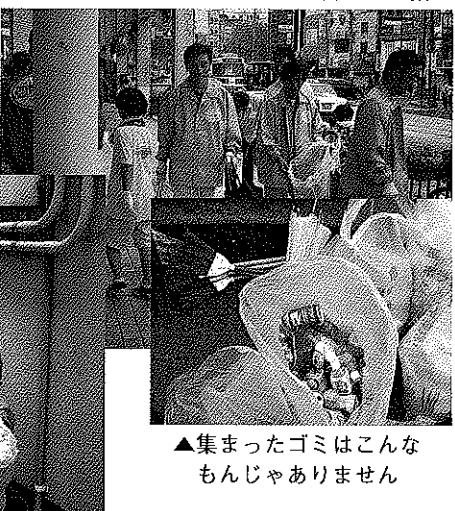
◀三田村副会長
お疲れさまで
した



▲原田、地島両OB

▼連合会の方々も一緒にゴミ拾い

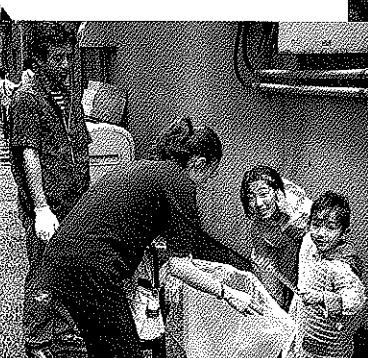
▲溝の中にはたくさんの
タバコの山でした



▲集まったゴミはこんな
もんじゃありません



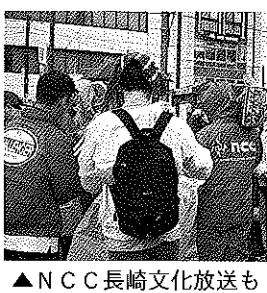
カルニアウトも頑張りました▼



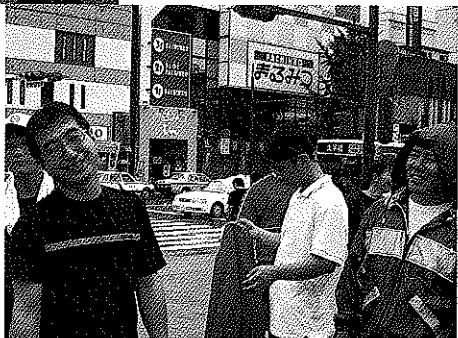
▲坂上ファミリーの課外授業



▲この後が大変でした覚えてますか?



▲NCC長崎文化放送も
取材に来てくれました



▲村木会長 お疲れさまでした

今月の誕生者

- ☆福田 増幸君 昭和40年7月31日生(昭和62年7月入会・在籍15年)37歳
 ☆山口雄一郎君 昭和43年7月14日生(平成8年6月入会・在籍6年)34歳
 ☆飯塚 和哉君 昭和45年7月10日生(平成10年4月入会・在籍4年)32歳
 ☆中尾 仁君 昭和47年7月12日生(平成10年6月入会・在籍4年)30歳
 ☆末次 成礼君 昭和46年7月8日生(平成12年5月入会・在籍2年)31歳

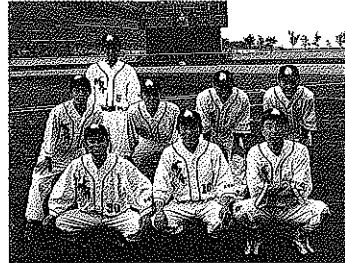
◀ 同好会報告 ▶

◆野球同好会

去る6月14日に市民早朝野球大会・Bクラス二回戦がA.M5:30に行われた。9人ぎりぎりの参加で少数精鋭となり試合が始まった。互いに譲らず接戦となつたが、力及ばず惜敗!!負けはしたけれども早朝のグランドは風も爽やかで、土や芝生の匂いも心地よく、ん~、やっぱり野球は良いもんだと再確認。しかし審判の方に怪我人が出たら困るという事で来年からは最低10人は必要と注意され、野球部の存続が危ぶまれる。しかし試合前に「来年からは・・」と注意されるのは寂しい(笑)。負けると分かってたのか!? (大爆笑)。

最後にまたまた助っ人に来てくれた松尾浩・地島 両O B本当に助かりました~。

ありがとうございました! 「来年」は頑張るぞ~~!!



	1	2	3	4	5	6	7	計
八郎クラブ	1	0	0	0	1	0	2	4
長崎青年協会	0	1	0	0	0	0	0	1

長崎新聞 2002年7月1日



毎日新聞 2002年7月1日



8月の行事予定

5日(月) 理事会 8日(木) 平和の灯

16日(金) 理事会 24日・25日(土・日) 全体研修(予定)

8月度事務局清掃担当委員会

総務例会委員会

二次懇親会担当委員会

総務例会委員会

編集後記

W杯が終わって一息ついて、ふとカレンダーを見ると7月?何と1年の半分が、終わっていた。2002年も残すところ約半年。この上半期は何をしてきたのかと自問をしてみた。

何もない。何も残してきていない。ここ数年、毎年同じ答えしかしない。結局は何の変化もなく、惰性での人生を送っているだけで、平凡な毎日である。しかし、毎日の生活に不満を持ちながらも、平凡が一番幸福なのかもしれない。幸福であったか否か、その答えは最後を迎える時にしか判らないのかもしれない。

発行 社団法人長崎青年協会 会長・田川清浩 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階

TEL 095-821-1625 FAX 095-823-7375

編集 広報委員会委員長・仁藤和彦 副委員長・三瀬健司 福田増幸 広瀬健司 岸本純孝

福島広之 中尾 仁 岩口信美 桂 雄剛 片岡浩一 橋田徳之

印刷 昭英印刷有限会社 長崎市平野町1-3-13 TEL 095-844-0231